

要支援者への避難所対応は

町長 間違った判断のないように取り組む



録画を配信

白鷹町国土強靱化計画

基本目標の一番に「人命の保護が最大限に図られること」とあり、町民の安心安全が大原則である。

地域防災計画

問 白鷹町地域防災計画の改定内容はなにか。

町長 令和5年度改定の内容は、令和3年度の災害対策基本法の改正や、近年頻発する災害からの教訓及び山形県地域防災計画の見直しを踏まえ、防災意識の向上を図るため、行政主導の対策から住民主体の対策へ転換を進めるよう修正した。

問 警戒レベル3「高齢者等避難」において、いち早い避難に備えるため早期の避難所開設が必要ではないか。

町長 町としては、常に早い段階で避難所の開設を行っており、避難が必要な方の情報等についても自主防災組織に提供をしている。反省すべき点があれば、具体的に指摘いただき、そのうえで検証を進め、間違った判断のないように取り組んでいきたい。

自主防災組織の充実

問 共助という点で、自主防災会や地域コミュニティが重要であり、自主防災組織等への訓練の種類・方法等の周知や、教材・資機材等のバックアップも必要ではないか。

総務課長 避難訓練の実施や防災マップの作成等に係る経費について助成を行っている。

また、訓練等の地域間の情報について共有することは可能と考えられ、地域ぐるみで防災力強化、共助の取り組みをお願いしていきたい。

福祉避難所

問 福祉避難所又は医療機関との情報共有や、受け入れ態勢の整備状況と移送の検討状況は。

町長 現在、町内5つの施設と福祉避難所の



問 福祉避難所の対象となる方や収容可能な人数等が、確認または情報共有されているか。

総務課長 協定を締結している施設の受け入れ人数等については確認しているが、計画改定の大きな位置づけとなる直接避難の促進については、個別避難計画により誰が福祉避難所への避難が必要なのか確認する必要がある。施設とのマッチング等福祉関係者も交えて体制の整備について検討させていただいている。

私もひとこと

町民の安心のため弱者優先・人命保護第一においた施策を望みます。
(60代男性)